

四四〇二番

ちはやふる 神のみ坂に 弊奉り 斎ふ命は  
母父がため

四四〇三番

大君の 命 恐み 青雲の とのびく山を 越よ  
て来ぬかむ

四四〇四番

難波道を 行きて来までと 我妹子が 付けし紐  
が緒 絶えにけるかも